

もっと ニュース

孟宗竹ソーメン流し



孟宗竹を流れるソーメンを食べる子どもたち

7月27日、北薩広域公園で、「第7回 菜々&夏ソーメン流しin北薩広域公園」が行われました。これは、本町特産の孟宗竹を利用した長さ約150メートルのソーメン流しです。今年、町内外から約300人が訪れ、箸を構えて孟宗竹の上を流れてくるソーメンを思い思いに食べました。当日は天候にも恵まれ、青空の下、白いソーメンをすすりながら、「おいしいね」という声があちこちで聞こえました。

「道の日」道路清掃作業を実施



道路沿いで草払いをする様子

8月8日、鉄道記念館周辺ほか町道及び町管理施設などで、清掃作業を実施しました。宮之城建友会の方々や町職員など約150人が参加し、道路沿いの除草、伐採などの作業が行われ、町内各所の道路や施設がきれいになりました。



熱心に星座を学ぶ参加者

参加者は、星空観測を通じて、宇宙の神秘を感じながら親子の絆を深めました。



赤ちゃんウミガメを放流する子どもたち

今回の交流で得たことをリーダーとして、学校や地域活動の中で活かして、それが期待されます。

7月19日から21日にかけて、熊毛郡中種子町で、さつま青少年ウミガメ交流事業が実施されました。これは、中種子町と締結した友好交流協定に基づく、青少年交流の一環として、

青少年ウミガメ交流事業・中種子町

豊かな海で自然にふれ合おう

また、明日の郷土を担う青少年の育成を目的に実施されたもので、町内の各小・中学生39人が参加しました。参加者は、豊かな海に囲まれた中種子町の自然の中で、サーフィンに挑戦したり、ウミガメの赤ちゃんの放流や卵に触れたりしました。中種子町内の子どものためのレクリエーションや交流夕食会では、お互いの友好を深めました。また、戦時中、本町へ疎開をされた方々子どもたちと楽しく交流をされました。

さつまふるさと体験塾

夏のアドベンチャー・少年の船

7月25日から27日にかけて、薩摩川内市里町で、さつまふるさと体験塾「夏のアドベンチャーツアー」が行われ、ジュニアリーダークラブ「ほたる」メンバー7人を含む、町内の各小・中・高校生30人が参加しました。



カヌーに挑戦する子どもたち

7月25日から27日にかけて、薩摩川内市里町で、さつまふるさと体験塾「夏のアドベンチャーツアー」が行われ、ジュニアリーダークラブ「ほたる」メンバー7人を含む、町内の各小・中・高校生30人が参加しました。透きとおる海での海水浴

やウインドサーフィン、カヌーにも挑戦し、豊かな海に囲まれた里町の自然にふれました。また、各班ごとに献立をたて、協力して作った夕食では、様々なメニューに指導員も驚かされました。参加者は、異年齢集団による共同生活や活動を通して、多くの友だちもでき、相手を思いやる気持ちを学び、リーダーとしての自覚を深めました。

親子星空探検隊

永遠に広がる宇宙をのぞいてみよう

8月9日、薩摩農村環境改善センターで、町子ども会育成連絡協議会主催による親子星空探検隊が開催されました。

この親子星空探検隊は、親子で星空を観測し、宇宙への夢を育てると共に親子の絆を深めてほしいと計画されたものです。当日は、子どもや保護者など97人が参加し、観測する星座を学んだり、親子で星座ボードを製作したりしました。当初、大型望遠鏡で月や木星を観測する予定でしたが、天候不良のため室内での簡易プラネタリウムで学習しました。

鶴田龍舟 川内川を泳ぐ 水辺の楽校鶴田龍舟祭・神子



76チームが熱戦を繰り広げました

大会結果 (各レースの上位3チーム)

順位	クルー名	タイム
優勝	不知火	0分53秒99
2位	津奈木海龍1号	0分55秒90
3位	不知火ジュニア	0分56秒39

順位	クルー名	タイム
優勝	大保やまびこ	1分07秒66
2位	栗野ファイターズ	1分08秒63
3位	鶴龍	1分09秒66

順位	クルー名	タイム
優勝	チーム美人娘	1分15秒62
2位	鶴姫	1分17秒79
3位	OS (オズ)	1分20秒55

順位	クルー名	タイム
優勝	鶴田スポーツ少年団B	1分35秒24
2位	さつま柏原E	1分39秒64
3位	さつま柏原D	1分40秒76

8月24日、川内川神子橋付近の特設会場で、第11回さつま町水辺の楽校鶴田龍舟祭が開催されました。町内外から76チームが参加し、日頃鍛えた腕力とチームワークを競いました。今年から「小学生の部」が新設され、9チームが参加しました。初めての大会とあって、子どもたちは慣れないパドルを一生懸命漕いでいました。また、昼食時には中山景子さんと時元由香さんによるカヌー競技の模範演技も披露され、大会に花を添えました。会場は炎天下の中、白熱したレースが展開され、選手同様にボランティアスタッフが汗だくになりながら、大会を支えました。今年も地元高校生クラブやジュニアリーダークラブの方々が大会への参加だけでなく、スタッフの一員として協力し、大会を盛り上げました。

旬の味覚 楽しんで

ぶどう・なし収穫祭



ぶどうにハサミを入れる園児

7月28日、新生の福岡観光農園で、平成20年産ぶどう収穫祭が開催され、生産者と関係者が収穫を祝いました。

この日は、佐志保育所の年長組園児も収穫祭に招待され、園児らが、たわわに実ったぶどうにハサミを入れ、収穫を楽しみました。さつまブドウ振興会では、9農家が3・4haで栽培し、約40トンの販売を見込んでいます。販売は、9月下旬まで、観光農園や直売、宅配のほか町内の直売所で販売されます。



もぎたてのなしを味わう園児たち

8月5日、虎居の藤田俊郎さんのなし園で、平成20年産なし収穫祭が開催され、生産者や関係者が、なしの収穫を祝いました。この日は、吉祥園保育園の園児が招待され、甘くておいしそうな、なしのもぎとり体験を楽しみました。さつま町なし振興会では、18人の農家が約10haで12品種を栽培しています。県内では、霧島市に次ぐ2番目の面積です。販売は、12月中旬まで続き、観光農園や直売、宅配のほか町内の直売所で販売されます。